

〔評価結果の公表様式〕

愛知県福祉サービス第三者評価事業 評価結果

①第三者評価機関情報

評価機関名: 愛知県社会福祉協議会 福祉サービス第三者評価事業所 (認証番号:24地福第3-1号)
訪問調査 実施日: 平成26年11月18日(火)

②事業者情報

名称:(法人名) 稲沢市 (施設名) 稲沢市立片原一色保育園	(施設種別) 児童福祉施設 (基準の種類) 保育所
代表者氏名 坂野 真弓	定員(利用人数) 90人
所在地:〒492-8352 稲沢市一色神宮町63	TEL 0587-36-0323

③総評

<p>◇特に評価の高い点</p> <ul style="list-style-type: none">・理念や基本方針は、子ども達の成長を願い、片原一色保育園らしい独自の理念を検討している。今年度からは、「生きる力を育てる」を加え保育にあつたっている。・園長は、主任保育士と協力し、職員が働きやすい環境づくりに取り組んでいる。・園長は、事業や経営の改善について、乳児保育や延長保育を拡充し、今後は、障がい児保育、一時保育も視野に入れた計画作りにも取り組んでいる。・芋の収穫や裸祭り等を通じて地域と交流し、相互理解を深めている。・親子遊びや園庭開放、保育室開放等地域の子育てを支援している。・改修工事の危険箇所配慮しながら、子どもが安全・安心して生活できるように気を配り優しくかかわっている。・保育課程を基準に様々な計画書を作成し、季節や子どもの実態に合わせた環境を整備している。・作品展に向けてコツコツと作り上げられた子どもの個性豊かな作品が展示され、その過程で根気、人との繋がりを学び、達成感を得る機会となっている。 <p>◇改善を求められる点</p> <ul style="list-style-type: none">・中長期計画は、保育内容、組織体制、人材育成、施設整備などについて予算を伴う計画として策定されたい。・事業計画は、中長期計画を踏まえた、単年度の総合的な計画として策定されたい。・研修計画は、中長期計画で展望する保育内容に見合った人材配置、育成を視野に、体系的な研修計画を策定されたい。・災害時の安全確保の観点から、乳児保育は、1階で実施されたい。・記録は状況・評価・反省だけに留まらず、改善につながる方向性を示されたい。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価受審に向け全職員で自己評価を行いながら保育の見直しができ、又評価者の方がたから今まで気づかなかつた部分、記録の取り方、改善に向けての詰め甘さを教えていただき大変勉強になりました。評価結果を頂き、保育をしっかり評価してもらっていると感じました。保育の質についてはPDCAをいつも心がけ改善し、向上していこうと思っております。
--

⑤第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

評価項目(細目)の評価結果(保育所)

※すべての評価細目(77項目)について、判断基準(の3段階)に基づいた評価結果を表示する。

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

			第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。			
I-1-(1)-①	理念が明文化されている。	保 1	Ⓐ ・ b ・ c
I-1-(1)-②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	保 2	Ⓐ ・ b ・ c
I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。			
I-1-(2)-①	理念や基本方針が職員に周知されている。	保 3	Ⓐ ・ b ・ c
I-1-(2)-②	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	保 4	a ・ Ⓑ ・ c

評価機関のコメント

- ・今年度から「生きる力を育てる」を理念に加え、それに基づく基本方針を明文化して保育に当たっている。
- ・理念や基本方針は、利用者にも解かりやすく説明して、理解を促すよう努められたい。

I-2 事業計画の策定

			第三者評価結果
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
I-2-(1)-①	中・長期計画が策定されている。	保 5	a ・ Ⓑ ・ c
I-2-(1)-②	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	保 6	a ・ Ⓑ ・ c
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。			
I-2-(2)-①	事業計画の策定が組織的に行われている。	保 7	a ・ Ⓑ ・ c
I-2-(2)-②	事業計画が職員に周知されている。	保 8	Ⓐ ・ b ・ c
I-2-(2)-③	事業計画が利用者等に周知されている。	保 9	a ・ Ⓑ ・ c

評価機関のコメント

- ・中長期計画は、片原一色保育園の保育内容、組織体制、人材育成、施設整備等について、予算を伴う計画として策定されたい。
- ・各分野別の事業計画は策定されているが、単年度の総合的な事業計画として策定されたい。その内容は、既定の運営方針を生かされたい。

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

			第三者評価結果
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。			
I-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	保 10	Ⓐ ・ b ・ c
I-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	保 11	Ⓐ ・ b ・ c
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
I-3-(2)-①	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	保 12	Ⓐ ・ b ・ c
I-3-(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取組みに指導力を発揮している。	保 13	Ⓐ ・ b ・ c

評価機関のコメント

- ・管理者としての役割や責任を自覚し、指導力を発揮している。
- ・主任保育士と連携を密にし、職員が働きやすい環境づくりに努力している。

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

			第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
Ⅱ-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	保 14	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅱ-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	保 15	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅱ-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	保 16	a ・ b ・ ㉔

評価機関のコメント

- ・事業経営や経営状況の改善に積極的であり、新規事業にも取り組んでいる。
- ・外部の専門家から、保育分野等の改善について助言指導を受け、レベルアップできる機会として外部監査の実施を検討されたい。

Ⅱ-2 人材の確保・養成

			第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。			
Ⅱ-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	保 17	a ・ ⑥ ・ c
Ⅱ-2-(1)-②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	保 18	① ・ b ・ c
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
Ⅱ-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	保 19	① ・ b ・ c
Ⅱ-2-(2)-②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	保 20	① ・ b ・ c
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
Ⅱ-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	保 21	a ・ ⑥ ・ c
Ⅱ-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	保 22	a ・ ⑥ ・ c
Ⅱ-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	保 23	a ・ ⑥ ・ c
Ⅱ-2-(4) 実習生の受入れが適切に行われている。			
Ⅱ-2-(4)-①	実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取り組みをしている。	保 24	a ・ ⑥ ・ c

評価機関のコメント

・職員の自己評価票を元に園長との面談を実施し、人事考課を行っている。
 ・職員が働きやすい環境を作り、資質向上に取り組めるように支援している。
 ・研修体制については、職員の意向を汲みながら派遣しているが、一人ひとりの技術や知識の必要性、あるいは経験や専門性を考慮した、個別の研修計画を策定されたい。

Ⅱ-3 安全管理

			第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。			
Ⅱ-3-(1)-①	緊急時(事故、感染症の発生時など)における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	保 25	① ・ b ・ c
Ⅱ-3-(1)-②	災害時に対する利用者の安全確保のための取り組みを行っている。	保 26	a ・ ⑥ ・ c
Ⅱ-3-(1)-③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	保 27	a ・ ⑥ ・ c
Ⅱ-3-(1)-④	調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	保 28	① ・ b ・ c

評価機関のコメント

・リスクの種別にマニュアルを整備し、職員に周知徹底している。
 ・災害時の利用者の安全確保の観点から、2階での乳児保育を1階で実施されるよう見直されたい。

Ⅱ-4 地域との交流と連携

			第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
Ⅱ-4-(1)-①	利用者地域とのかかわりを大切にしている。	保 29	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅱ-4-(1)-②	保育所が有する機能を地域に還元している。	保 30	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅱ-4-(1)-③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	保 31	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。			
Ⅱ-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	保 32	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅱ-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	保 33	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。			
Ⅱ-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握している。	保 34	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅱ-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	保 35	Ⓐ ・ b ・ c

評価機関のコメント

・芋の収穫や裸祭りなどを通じて、地域との交流を図り、相互理解を深めている。
 ・未就園児の親子遊び、週1回の園庭開放、保育室での読み聞かせ等、ボランティアと一緒に地域の子育て支援活動に取り組んでいる。
 ・地域のニーズに基づく事業として、子育てサークル支援、出張保育、来年度のミニ育児講座などに取り組んでいる。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

			第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
Ⅲ-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	保 36	a ・ Ⓑ ・ c
Ⅲ-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	保 37	a ・ Ⓑ ・ c
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。			
Ⅲ-1-(2)-①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取り組みを行っている。	保 38	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
Ⅲ-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	保 39	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	保 40	a ・ Ⓑ ・ c
Ⅲ-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	保 41	a ・ Ⓑ ・ c

評価機関のコメント

・プライバシー保護に関するマニュアルを整備し、保育の場面の手順書等にも明記し、職員に徹底されたい。
 ・苦情解決の仕組みと、意見や提案に対応する仕組みを整理して効果的に取り組まされたい。
 ・様々なケースについて、記録を徹底し、振り返りや改善、情報の共有を強化されたい。

Ⅲ-2 サービスの質の確保

			第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。			
Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	保 42	a ・ ② ・ c
Ⅲ-2-(1)-②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善計画を立て実施している。	保 43	a ・ ② ・ c
Ⅲ-2-(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。			
Ⅲ-2-(2)-①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	保 44	a ・ ② ・ c
Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	保 45	a ・ ② ・ c
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。			
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	保 46	a ・ ② ・ c
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	保 47	① ・ b ・ c
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	保 48	a ・ ② ・ c

評価機関のコメント

- ・今回の評価は職員全体で行い園長・主任で集約されている。今後は改善策や改善計画の策定が期待される。
- ・自己評価はしっかり行われており、自己の課題に取り組もうとする姿勢は個別にある。
- ・市が提供した標準的な実施方法を保育園仕様手直したものが整理してある。
- ・P・D・C・Aのサイクルが行われるように、保育の記録等を見直されたい。
- ・職員会議で協議し、確認したことを会議録に記されたい。

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

			第三者評価結果
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。			
Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	保 49	① ・ b ・ c
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	保 50	① ・ b ・ c
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。			
Ⅲ-3-(2)-①	保育サービスの変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	保 51	a ・ ② ・ c

評価機関のコメント

- ・入園説明会・保育園のしおり・入園式の機会を利用し、保護者に対して適切に情報を提供している。
- ・入園のしおりには保育園の生活に必要な物や約束事など具体的に説明されている。
- ・保育要録は義務として捉え、市内の転園はファイル送付にて情報が伝えられ、市外への転園に対しても検討中である。

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

			第三者評価結果
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。			
Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	保 52	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。			
Ⅲ-4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策定している。	保 53	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	保 54	a ・ Ⓑ ・ c

評価機関のコメント

<ul style="list-style-type: none"> ・身体状況・生活状況等既定の様式により記載されている。 ・保育を実施するに当たり、保育課程を基準に様々な計画書を作成し、季節や子どもの実態に合わせて環境を整備している。 ・PDCAサイクルが機能するように、どの計画書にも評価・反省は示されているが、改善策がない。 ・現在の保育内容に甘んじるのではなく、反省をどのように活かしていくのか等、改善の方向性が示されるよう検討されたい。
--

Ⅲ-5 保育所保育の基本

			第三者評価結果
Ⅲ-5-(1) 養護と教育の一体的展開			
Ⅲ-5-(1)-①	保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育過程を編成している。	保 55	a ・ Ⓑ ・ c
Ⅲ-5-(1)-②	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	保 56	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(1)-③	1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	保 57	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(1)-④	3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	保 58	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(1)-⑤	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	保 59	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(2) 環境を通して行う保育			
Ⅲ-5-(2)-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	保 60	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(2)-②	子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	保 61	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(2)-③	子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友達との協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	保 62	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(2)-④	子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	保 63	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(2)-⑤	子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	保 64	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3) 職員の資質向上			
Ⅲ-5-(3)-①	保育士が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	保 65	Ⓐ ・ b ・ c

評価機関のコメント

<ul style="list-style-type: none"> ・改修工事による危険個所に配慮しながら、子どもが安全・安心して生活できるように気を配り、優しくかかわっていた。 ・作品展に向けてコツコツと作り上げられた子どもの個性豊かな作品が展示され、その過程は根気や人との繋がりを学ぶ機会となっており、達成感を得ている。 ・自己評価を行い園長と面接がある。 ・各計画の実施について評価反省があり、次の保育の改善に努めようとしている。

Ⅲ-6 子どもの生活と発達

		第三者評価結果	
Ⅲ-6-(1) 特別なニーズに応ずる保育			
Ⅲ-6-(1)-①	子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助がおこなわれている。	保 66	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-6-(1)-②	障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	保 67	a ・ Ⓑ ・ c
Ⅲ-6-(1)-③	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	保 68	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-6-(2) 子どもの食と健康			
Ⅲ-6-(2)-①	食事を楽しむことができる工夫をしている。	保 69	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-6-(2)-②	乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	保 70	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-6-(2)-③	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	保 71	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-6-(2)-④	子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	保 72	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-6-(2)-⑤	健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	保 73	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-6-(2)-⑥	アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	保 74	Ⓐ ・ b ・ c

評価機関のコメント

- ・担任の子どもだけではなく一人ひとりに関わりを持ち複数の目で子ども達を見守り受容する体制がある。
- ・楽しむことを大切にしながら、一人ひとりの姿をみて食べる意欲が持てるように、態度等の声掛けを優しく促していた。
- ・研修の成果は、報告に留まらず、日々の実践に取り入れるよう検討されたい。

Ⅲ-7 保護者に対する支援

		第三者評価結果	
Ⅲ-7-(1) 家庭との密接な連携			
Ⅲ-7-(1)-①	家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	保 75	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-7-(1)-②	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	保 76	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-7-(1)-③	虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	保 77	Ⓐ ・ b ・ c

評価機関のコメント

- ・座って靴を履いている子どもの姿勢に合わせて座っている祖母の傍らで、その姿勢に合わせて職員も座り今日の子どもの様子を丁寧に説明していた。
- ・保護者には、保育内容等に満足感と信頼を持って受け入れられている。
- ・虐待対応マニュアルがあり、関係機関とつなげていく体制がある。
- ・保育園での一日のチェックポイントを示し、「気づき」の支援について職員を教育、虐待の早期発見と予防に努めている。